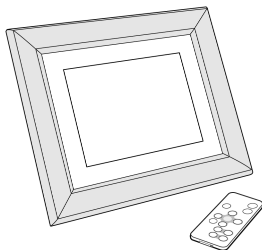
FUJIFILM

デジタルフォトフレーム

DP-S7V

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書には、デジタルフォトフレームの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。



お使いになる前に

次の手順に従って準備してください

1 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（下記）。

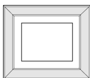


2 デジタルフォトフレームを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」（→ 27 ページ）をお読みください。



3 本書をよくお読みの上、デジタルフォトフレームをお使いください。

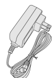
■本体 1 台および付属品一覧



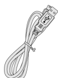
デジタルフォトフレーム本体



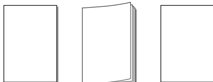
リモコン（1 個）
（リモコン用電池はあらかじめリモコンにセットされています。）



AC アダプター（1 式）



USB ケーブル（1 本）



- ユーザーガイド
- 使用説明書
- 保証書

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

➡ こんな時に使いたい機能一覧  P.3

この製品を使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

➡ 目次  P.5

主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

➡ トラブルシューティング／ FAQ  P.30

この製品の動作がおかしいとき、画像が正しく表示されないなどの原因と対処法を紹介しています。

➡ 警告表示  P.32

液晶画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

➡ 用語の解説  P.33

この製品に関する専門用語を解説しています

使用可能なメモリーカードについて

この製品では、SD メモリーカード、MMC メモリーカード、xD- ピクチャーカード、メモリースティックがお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。
詳しくは「メモリーカードと USB フラッシュドライブについて」（→ 33 ページ）をご覧ください。

本書での説明について

リモコン操作を基本に説明しています。

本体／リモコンで同じ名称のボタンは同じ働きをします。

本書で使われている記号について

注意：この製品を使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶画面のイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。実際の画面と文字などの表示が一部異なることがあります。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■画像の再生、表示について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
画像のスライドショーを見たい。		18
スライドショーの表示間隔を変えたい。	時間 / フレーム	23
お気に入りの画像を 1 枚だけ表示したい。	選択した画像を見る	16
画像の特定部分を拡大して表示したい。 拡大した画像の表示位置を調整したい。	ズーム再生	16
画像を回転して表示したい。	画像を回転する	16
予約した時刻に自動的に電源が入り、スライドショーなどの画像の表示が始まるようにしたい。 予約した時刻に自動的に電源が切れるようにしたい。	オン / オフタイマー	23
音楽を再生したい。	音楽	19
動画を再生したい。	動画	21
日付や時刻を表示したい。	カレンダー	19

はじめに

■その他の操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
本体 / リモコンのボタンの名前を知りたい。	各部の名称	7
メモリーカード、USB ストレージデバイスのファイルを内蔵メモリーにコピーしたい。	画像を内蔵メモリーにコピーするには。	17
	音楽ファイルを内蔵メモリーにコピーするには。	20
	動画ファイルを内蔵メモリーにコピーするには。	22
内蔵メモリーのファイルを消去したい。	画像を内蔵メモリーから消去するには。	17
	音楽ファイルを内蔵メモリーから消去するには。	20
	動画ファイルを内蔵メモリーから消去するには。	22
時計を設定したい。	日付と時刻	15
工場出荷時設定に戻したい。	リセット	24
USB ケーブルを使ってパソコンの画像をコピーしたい。	パソコンに接続する	25
PictBridge 対応プリンターを使って写真を印刷したい。	プリンターに接続	26
液晶画面に表示される警告表示の意味を知りたい。	警告表示	32
本体の設定を変更したい。	セットアップ	23

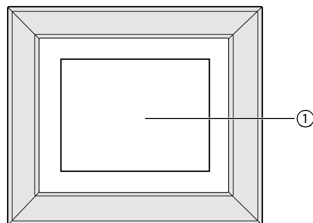
目次

各部の名称

デジタルフォトフレームとリモコンの各部の名称は以下の図をご覧ください。本書に記載されている説明や使い方は、通常、リモコンの場合を意味します。

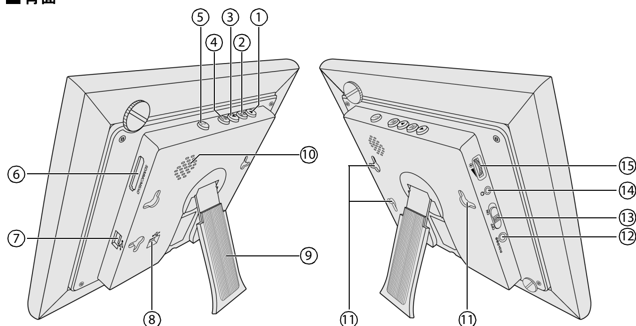
デジタルフォトフレーム本体

■前面



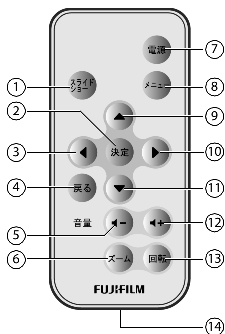
1	液晶画面 / リモコン受光部 (リモコン用)................................	P.9

■背面



1	◀ ボタン	
2	決定ボタン	
3	▶ ボタン	
4	戻るボタン	
5	メニューボタン	
6	SDメモリーカード/マルチメディアカード (MMC)/xD- ピクチャーカード / メモリースティックスロット	P.12
7	USB ホスト端子	P.13
8	mini USB B 端子...........	P.25
9	スタンド	P.11
10	スピーカー	
11	壁掛け用穴	
12	電源入力端子	P.13
13	電源スイッチ	P.14
14	イヤホン端子	
15	画面明るさ調整ダイヤル	

リモコン



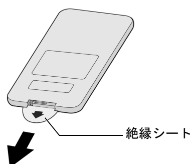
1	スライドショーボタン	8	メニューボタン
2	決定ボタン	9	▲ ボタン
3	◀ ボタン	10	▶ ボタン
4	戻るボタン	11	▼ ボタン
5	音量 - ボタン	12	音量＋ボタン
6	ズームボタン	13	回転ボタン
7	電源ボタン	14	電池ホルダー



使用するための準備

リモコンを準備する

本製品のリモコンには、あらかじめ電池がセットされています。絶縁シートを引き抜いてからお使いください。

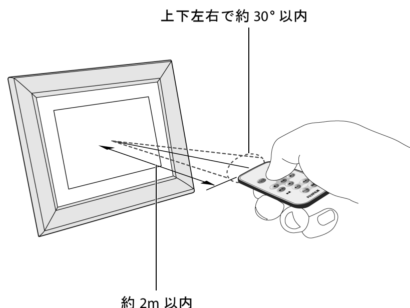


チェック

- リモコンにセットされている電池は、お試し用の電池です。リモコンが正しく動作しなくなったときは、電池を交換してください。電池交換の手順については、「リモコンの電池を交換するときは」（⇒ 10 ページ）をご覧ください。

リモコンを使用するときは

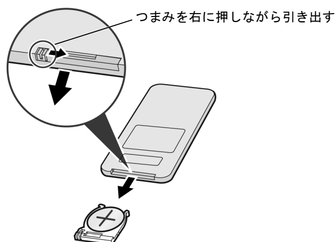
本製品は、液晶画面の裏側に内蔵のリモコンセンサが内蔵されています。リモコンを液晶画面に向けて操作してください。



リモコンの電池を交換するときは

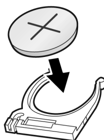
使っているリモコンが正しく動作しなくなったら、市販されている新しい電池 (品番 CR2025) に交換してください。

1. リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出します。つまみを右に押しながら引き出します。



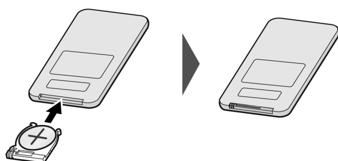
2. 古い電池を取り出し、新しい電池の "+" マークが上になるようにして電池ホルダーに入れます。

注意
- 電池の表面と裏面を間違えないように電池ホルダーに入れてください。



3. 電池ホルダーをリモコンの奥までしっかり差し込みます。

チェック
- 「カチッ」となるまで差し込んでください。

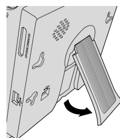


スタンドを調整する

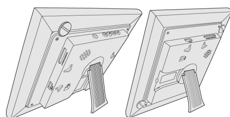
見やすい角度で画面を見られるように、スタンドを調節します。

スタンドを立てる

1 スタンドを図のように立てます。

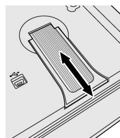


2 デジタルフォトフレームは、スタンドを回転させるとお好みの角度で立てられるようになります。



横置き時　　縦置き時

3 本製品を平らで安定した場所に置いて、画面が見やすいようにスタンドの長さを調節します。

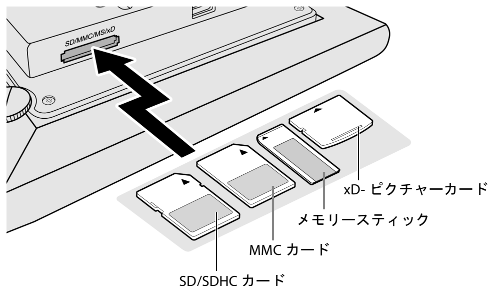


ヒント

- スタンドは、縦置き / 横置きのどちらでも立てられます。本製品を横置きにしたときに縦長の写真の向きを正しく表示させるには、**設定**メニューで**画像の縦横判別**機能を有効にします (23 ページ)。
- デジタルフォトフレームは、壁掛け用穴を使って壁に掛けられます。

メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きを図で確認し、カードスロットの奥まで確実に差し込みます。



メモリーカード挿入時のご注意

- 斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- メモリーカードのデータは、パソコンなどで必ずバックアップを取ってから使用してください。

使用できるメモリーカードの種類について

- 詳しくは「メモリーカードと USB フラッシュドライブについて」（→ 33 ページ）をご覧ください。

表示できる画像のファイル形式について

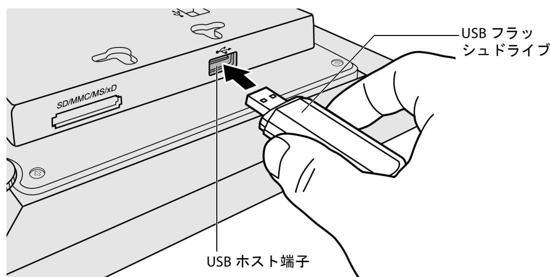
- JPEG（Exif 規格に対応）と BMP 形式の画像ファイルを表示できます。それ以外のファイルや、パソコンで加工したファイルは、表示できない場合があります。

メモリーカードを取り出すときは

メモリーカードスロットからカードをやさしく引き出します。

USB フラッシュドライブを挿入する

USB フラッシュドライブの接続部を本製品の USB ホスト端子に差し込みます。

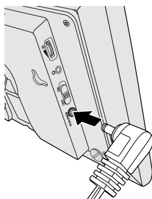


チェック

- 市販されているすべての USB フラッシュドライブの動作を保証するものではありません。
- 本製品を USB ハブに接続しないでください。

電源をつなぐ

AC アダプター (付属) を取り付けます。



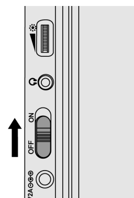
注意

- AC アダプターは必ず付属の製品をご使用ください。他の製品の AC アダプターを本製品につなげて使用しないでください。

電源をオン / オフにする

電源をオンにする

本体の電源スイッチを ON の位置にスライドします。FUJIFILM ロゴが表示され、続けて**メインメニュー**画面が表示されます。



メモリーカードまたは USB フラッシュドライブが挿入されている場合、ポップアップメニューが表示されます。アクションを選択します。

- **スライドショーを開始** : 挿入されたメモリーカード /USB フラッシュドライブ内の写真がスライドショーで表示されます。
- **サムネイルビューへ進む** : 画像のサムネイルを写真モードで表示します。
- **内蔵メモリーへ全ファイルをコピー** : 挿入されたメモリーカード /USB フラッシュドライブ内のすべてのファイルを内蔵メモリーにコピーします。
- **メインメニューへ進む** : メインメニューへ移動します。
- **戻る** : ひとつ前の画面に戻ります。

スライドショーを開始
サムネイルビューへ進む
内蔵メモリーへ全ファイルをコピー
メインメニューへ進む
戻る

チェック

- 本体の電源を切るときは、電源スイッチを **OFF** の位置にスライドさせます。また、リモコンの**電源**ボタンを押すと、液晶画面のバックライトを消すことができます (スタンバイモード)。
- デジタルフォトフレームの電源が**オン / オフタイマー設定**機能 (24 ページ) によってオフになっているとき、本体またはリモコンの任意のボタンを押すと一時的に電源をオンにできます。その後、10 秒間何も操作しなかった場合、再び自動的に電源がオフになります。

 **注意**

- ファイルをコピー中は、メモリーカードや /USB フラッシュドライブを取り出したり、電源をオフにしたりしないでください。

電源をオフにする

電源をオフにする場合は、電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。また、本体の電源スイッチをオンにした状態で、リモコンの電源ボタンを押すことで液晶画面のバックライトを消してデジタルフォトフレームを待機状態にすることができます。

基本設定

本製品を始めて使用する前に、言語を選択したり時計を設定します。日付と時刻を設定することで、カレンダー表示 (19 ページ)、オン / オフタイマー (24 ページ)、アラーム (24 ページ) などが正しく動作します。

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ を押して**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

メインメニュー

メインメニューでは、次の項目が選択できます。

項目	説明
写真	写真やスライドショーを表示します (16 ページ)。
音楽	音楽を再生します (19 ページ)。
動画	音楽を再生します (21 ページ)。
カレンダー	カレンダー画面を表示します (19 ページ)。
設定	システム設定を構成します (23 ページ)。



2 ▲ または ▼ で**システムセットアップ**を選び、**決定**を押します。

3 ▲ または ▼ で**言語**を選び、**決定**ボタンを押すと、右のような選択画面が表示されます。

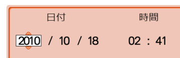


4 ▲ または ▼ で使用する言語を選択し、**決定**を押します。

5 設定メニューに戻すときは、**戻る**ボタンを押します。

6 ▲ または ▼ で**日付 / 時刻設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

7 ◀ または ▶ で年、月、日、時、分を選び、▲ または ▼ で値を変更します。本体のボタンを使っているときは、◀ または ▶ で年、月、日、時、分を選び、**メニュー**で値を変更します。設定が完了したら、**決定**ボタンを押します。



8 **戻る**を押して、設定メニューを終了します。

日付と時刻を表示するには

- **セットアップ**メニューの**時計を表示**を選択していると、**写真**モードで現在の日付と時刻を表示することができます。

チェック

- AC アダプターを長期間外したままにすると、時計設定がリセットされます。

使用するための準備



画像を見る

選択した画像を見る

本製品は、メモリーカード、USB フラッシュドライブや内蔵メモリー内の JPEG (.jpg) および BMP (.bmp) 形式の画像を表示できます。また、画像を大きくして表示する場所を選択することもできます。

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**写真**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック
- メモリーカードと USB フラッシュドライブを挿入している場合、これらのストレージデバイスを表すアイコンが画面上に表示されます。

2 ◀ または ▶ で画像を選び、**決定**ボタンを押します。

画像が表示されているときに ▶ を押すと次の画像へ進み、◀ を押すと、ひとつ前の画像に戻ります。



3 サムネイル画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。
- 別のフォルダの画像を表示するときは、**戻る**をもう一度押してフォルダレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でフォルダを選択して、**決定**を押します。
- 別のファイルソースの画像を表示するときは、**戻る**ボタンを 2 回押してファイルソースレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でファイルソースを選択して、**決定**ボタンを押します。

ヒント
- 画面明るさ調整ダイヤルを使うと、画像を表示する際の画面の明るさを適切なレベルに調節できます。

ズーム再生

ズームを押すと、現在画面に表示されている画像を拡大表示します。**ズーム**ボタンを押すたびに、画像のサイズによってズーム比率が 3 倍まで切り替わります。見えなくなっている場所を表示させるときは、▲、▼、◀ または ▶ で表示位置を調整します。

戻るを押して、拡大表示を終了します。

画像を回転する

回転を押すと、現在画面に表示されている画像が時計回りに回転します。**回転**を押すたびに、画像の回転が切り替わって別の角度になります。

チェック
- ズーム機能によって拡大されている画像を回転することはできません。
- 回転角度を記憶させておくことはできません。

画像をコピーする

メモリーカードや USB フラッシュドライブ内の画像を表示中に、内蔵メモリーにコピーすることができます。

1. **写真**モードで、コピーをする画像を含むメモリーカードまたは USB フラッシュドライブを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。
2. 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出された画像が画面上にサムネイル表示されます。
3. ◀ または ▶ でコピーしたい画像を選び、**メニュー**ボタンを押します。
4. ポップアップメニューで**ファイルをコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した画像が内蔵メモリーにコピーされます。

チェック

- **設定**メニューの**コピーモード**機能を使うと、画面の解像度に合わせて自動的に画像サイズを小さくしてコピーする (**スマートコピー**)、または元の画像サイズを維持してコピーする (**オリジナルコピー**) を選択します。**コピーモード**が**スマートコピー**に設定されている場合、内蔵メモリーにコピーできる画像枚数はおよそ 4,000 枚です。
- **オリジナルコピー**に設定されている場合は、元の画像のサイズによってコピーできる画像枚数が変わります。

注意

- コピー中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、画像ファイルが破損する恐れがあります。

画像を削除する

画像を表示しているときに、いらなくなった画像は消去することができます。

1. **写真**モードで、削除する画像を含むメモリーカード、USB フラッシュドライブ、または内蔵メモリーを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは16ページを参照してください。
2. 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出された画像が画面上にサムネイル表示されます。
3. ◀ または ▶ で削除したい画像を選び、**メニュー**を押します。
4. ポップアップメニューで**ファイルを削除**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した画像が削除されます。

注意

- ファイルは一旦削除すると、元に戻すことはできません。

スライドショー

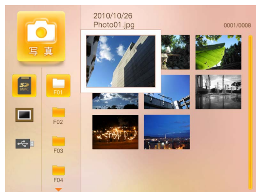
内蔵メモリー、メモリーカード、または USB フラッシュドライブ内の画像をスライドショーでそれぞれ連続的に見ることができます。

画像をスライドショーで表示する

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**写真**を選び、**決定**ボタンを押します。

画像はメモリーカード、USB フラッシュドライブ、内蔵メモリーの順に検出されます。例えば、メモリーカードと USB フラッシュドライブの両方が挿入されているときは、メモリーカード内の画像だけが画面上にサムネイル表示されます。別のファイルソースの画像を表示する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。

2 特定のフォルダの画像をスライドショー形式で表示するときは、フォルダで画像を選択した後に決定ボタンを 2 回押してスライドショーを開始します。



ヒント

- 内蔵メモリー、メモリーカード、USB フラッシュドライブを含むすべてのファイルソースにある全画像のスライドショーを実行するときは、**メインメニュー**で**スライドショー**ボタンを押します。

3 スライドショーを停止してサムネイル画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。

チェック

- メモリー内に音楽ファイルが含まれる場合、これらのファイルが BGM として再生されます。スライドショーの間の音楽再生をオン / オフにするには、**設定**メニューで**スライドショーセットアップ**、**音楽**の順に選択し、その後に**オン**または**オフ**を選択します。
- スライドの順序や間隔、スライドショー効果、音楽のオン / オフは、**設定**メニューの**スライドショーセットアップ**項目を使って選択できます (23 ページ)。また、スライドショーの実行中に**メニュー**ボタンを押すと、メインメニューへ進みます。
- 複数のスライドショー効果から選ぶことができます。例えば、フェード、エクスパンション、スケッチ、グリッド、スクロール、3D スワップ、プッシュ、シャッター、クロスコーム、マスク、レンガ、ランダムなどがあります。

カレンダー

カレンダーでは、画像のミニスライドショーを表示できます。本体の向きを縦置きにしている場合、カレンダーの向きを回転させることはできません。

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**カレンダー**を選び、**決定**ボタンを押します。



2 カレンダーを終了するときは、**戻る**ボタンを押します。

チェック

- 正しい時刻と日付を設定するには、15 ページを参照してください。
- アラームが設定されている場合、🔔 アイコンとアラーム時刻が**カレンダー**画面の右下隅に表示されます。アラームの設定方法については、24 ページを参照してください。

注意

- カレンダーモードでは、スライドショーでご覧になりたいフォルダを指定することはできません。

音楽

本製品は、メモリーカード、USB フラッシュドライブや内蔵メモリー内の MP3 (.mp3) および WAV (.wav) 形式の音楽を再生できます。音楽ファイルを再生するには、以下の手順に従います。

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**音楽**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- メモリーカードと USB フラッシュドライブを挿入している場合、これらのストレージデバイスを表すアイコンが画面上に表示されます。

2 ▲ または ▼ で再生するMP3ファイルを選び、**決定**ボタンを押します。音楽ファイルが再生され、最後に表示された画像が背景として表示されます。



3 音楽リスト画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。
- 別のフォルダの音楽ファイルを表示するときは、**戻る**をもう一度押してフォルダレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でフォルダを選択して、**決定**を押します。
- 別のファイルソースの音楽ファイルを表示するときは、**戻る**ボタンを 2 回押してファイルソースレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でファイルソースを選択して、**決定**ボタンを押します。

ヒント
- 本体のイヤホン端子にイヤホンを接続して、イヤホンで音楽を聴くことができます。

再生中、次の操作ができるようになります。

操作	説明
一時停止 / 再生	**決定**ボタンを押すと、再生を一時停止し、もう一度押すと再生をはじめます。
音量調整	**音量** + ボタンを押すと音量が大きくなり、**音量** - ボタンを押すと、音量が小さくなります。
スキップ	◀ を押すとひとつ前のトラックに戻り、▶ を押すと次のトラックへ移動します。
再生を終了	**戻る**ボタンを押すと、現在のトラック再生を終了します。**戻る**をもう一度押すと、**音楽**メニューを表示します。

音楽ファイルをコピーする

メモリーカードや USB フラッシュドライブ内の音楽ファイルを内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 **音楽**モードで、コピーをする音楽ファイルを含むメモリーカードまたは USB フラッシュドライブを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。

2 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出されたファイルが画面上に一覧表示されます。

3 ▲ または ▼ でコピーしたい音楽ファイルを選び、**メニュー**ボタンを押します。

4 ポップアップメニューで**ファイルをコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した音楽ファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

音楽ファイルを削除する

いらなくなった音楽ファイルは削除できます。

1 **音楽**モードで、削除する音楽ファイルを含むメモリーカード、USB フラッシュドライブ、または内蔵メモリーを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。

2 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出されたファイルが画面上に一覧表示されます。

3 ▲ または ▼ で削除したい音楽ファイルを選び、**メニュー**ボタンを押します。

4 ポップアップメニューで**ファイルを削除**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した音楽ファイルが削除されます。

注意
- ファイルは一旦削除すると、元に戻すことはできません。

動画

本製品は、メモリーカード、USB フラッシュドライブや内蔵メモリー内の動画を再生することができます。サポートされている動画ファイルの形式は以下の通りです。

- MOV (.mov, Motion JPEG および H.264 のみ)
- AVI (.avi, Motion JPEG および H.264 のみ)

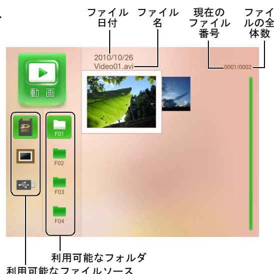
動画ファイルを再生するには、以下の手順に従います :

1 **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**動画**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- メモリーカードと USB フラッシュドライブを挿入している場合、これらのストレージデバイスを表すアイコンが画面上に表示されます。

2 ◀ または ▶ で再生する動画ファイルを選び、**決定**ボタンを押します。



3 サムネイル画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。

- 別のフォルダの動画を表示するときは、**戻る**をもう一度押してフォルダレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でフォルダを選択して、**決定**を押します。
- 別のファイルソースの動画を表示するときは、**戻る**ボタンを 2 回押してファイルソースレベルに戻ります。次に ▲ または ▼ でファイルソースを選択して、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 動画は、横置き方向でのみ表示可能です。

動画に関する仕様	ビットレート		最大 20 Mbps
	フレームレート		最大 30 fps
圧縮方式	動画（コーデック）	【Motion-JPEG】(拡張子 : mov, avi)	• 最大解像度 : 720p (1280 x 720)
			• 音声形式 : ADPCM, PCM, MP3, A-Law, Mu-Law
		【H.264】(拡張子 : mov, avi)	• 最大解像度 : 720p (1280 x 720 / 最大参照フレーム数 : 5) 480p (720 x 480 / 最大参照フレーム数 : 16)
			• 音声形式 : ADPCM, PCM, MP3
			• プロファイル : baseline/main/high profiles
			• レベル : 1 ～ 4.1
	音楽（コーデック）	【MP3】(拡張子 : mp3)	• サンプリング周波数 : 8kHz ～ 48kHz
			• ビットレート : 32kbps ～ 320kbps
		【LPCM】(拡張子 : wav)	• サンプリング周波数 : 8kHz ～ 48kHz

注意

- 全ての動画ファイルの動作を保証するものではありません。

再生中、次の操作ができるようになります。

操作	説明
一時停止 / 再生	**決定**ボタンを押すと、再生を一時停止し、もう一度押すと再生をはじめます。
音量調整	**音量 +** ボタンを押すと音量が大きくなり、**音量 -** ボタンを押すと、音量が小さくなります。
スキップ	◀ を押すとひとつ前の動画ファイルに戻り、▶ を押すと次の動画ファイルへ移動します。
再生を終了	**戻る**を押すと現在の動画ファイルの再生を停止して**動画**メニューに戻ります。

動画ファイルをコピーする

メモリーカードやUSB フラッシュドライブ内の動画ファイルを内蔵メモリーにコピーすることができます。

1. **動画**モードで、コピーをする動画ファイルを含むメモリーカードまたは USB フラッシュドライブを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。
2. 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出された動画ファイルが画面上に表示されます。
3. ◀ または ▶ でコピーしたい動画ファイルを選び、**メニュー**ボタンを押します。
4. ポップアップメニューで**ファイルをコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した動画ファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

動画ファイルを削除する

いらなくなった動画ファイルは削除できます。

1. **動画**モードで、削除する動画ファイルを含むメモリーカード、USB フラッシュドライブ、または内蔵メモリーを選択し、**決定**ボタンを押します。メモリーカードまたは USB フラッシュドライブからファイルを選択する方法について、詳しくは 16 ページを参照してください。
2. 複数のフォルダがある場合は、▲ または ▼ でフォルダを選択して**決定**ボタンを押します。検出された動画ファイルが画面上に表示されます。
3. ◀ または ▶ で削除したい動画ファイルを選び、**メニュー**ボタンを押します。
4. ポップアップメニューで**ファイルを削除**を選び、**決定**ボタンを押します。選択した動画ファイルが削除されます。

注意

- ファイルは一旦削除すると、元に戻すことはできません。

セットアップ

デジタルフォトフレームのいろいろな設定を調整する。

1. **メインメニュー**で、◀ または ▶ で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
2. ▲ または ▼ で項目を選び、**決定**を押して設定を調整します。



3. **戻る**を押して、**設定**メニューを終了します。

設定メニューの項目

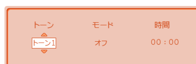
メニュー項目	項目	説明	初期値
表示設定		画像を画面全体に引き伸ばして表示する(画面の大きさに合わせる)、または画像サイズを変更しないで画面の高さに画像の高さを合わせて表示する(小さい画像を引き伸ばす)を選択します。	画面の大きさに合わせる
写真情報		画像情報を表示するかを選択します。	オフ
時計を表示		画像表示中に時計を表示するかを選択します。	いいえ
画像の縦横判別		画像の縦横判別機能の有効 / 無効を選択します。一部のカメラは各 JPEG ファイルの EXIF 情報内に方向情報を記録することができます。カメラの向きを変えてポートレート(縦型)画像で撮影すると、カメラは変更した方向を記録して画像を表示するときに縦向きにします。本製品で画像の縦横判別機能を有効にすると、このような EXIF 情報を読み取って自動的に写真の向きを変更します。	オン
コピーモード		画面の解像度に合わせて自動的に画像サイズを小さくしてコピーする(スマートコピー)、または元の画像サイズを維持してコピーする(オリジナルコピー)を選択します。	スマートコピー
日付 / 時刻設定		日付と時刻を設定します (15 ページ)。	——
アラーム設定		アラームを設定します (24 ページ)。	——
オン / オフ タイマー設定		一定の時刻に本体の電源を自動的にオン / オフにします (24 ページ)。	——
スライドショーセットアップ	**音楽**	スライドショー表示中に、BGM を再生するかを選択します。	オン
	時間 / フレーム	スライドショーで各画像を切替える時間間隔を設定します。	5 秒
	特殊効果	スライドショーで各画像を切替える際のスライドショー効果を選択します。	ランダム
	順序	スライドショーで各画像を表示する順番を設定します。	ノーマル

システムセットアップ	**言語**	メニューの言語選択します。	日本語
	並べ替え	ファイル名またはファイルの更新日時によって並び替えます。	ファイル名（昇順）
	ファームウエア アップデート	本製品のファームウェアを更新する際は、ファームウェアファイルをメモリーカードに読み込んでカードを本体に挿入し、この項目を選択してから**はい**を選択します。	——
	システムリセット	本製品を工場出荷時の状態に戻します。	——
	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマットします。	——

アラーム設定

アラームの設定手順は次の通りです。

1. ◀ または ▶ で**トーン**を選び、▲ または ▼ で、トーンのタイプを選択します。本体のボタンを使うときは、**メニュー**でアラームのトーンのタイプを変更します。



2. ◀ または ▶ で**モード**を選び、▲ または ▼ で**オフ**、**一回きり**、または**毎日**を選択します。**オフ**を選択するとアラームが無効になります。本体のボタンを使うときは、**メニュー**でモードを変更します。
3. ◀ または ▶ で設定する項目（時、分）を選択し、▲ または ▼ で変更します。本体のボタンを使うときは、**メニュー**で時刻を変更します。
4. 設定が完了したら、**決定**ボタンを押して、設定を保存して終了します。アラームが設定されている場合、アイコンとアラーム時刻が**カレンダー**画面の右下隅に表示されます。

チェック

• アラームを解除するには、本体またはリモコンのいずれからのボタン（**オン / オフ**ボタンを除く）を押してください。

オン / オフ タイマー設定

一定の時刻に本体の電源を自動的にオン / オフにします。

1. ▲ または ▼ で**オン / オフ タイマー設定**を選び、**決定**ボタンを押します。もう一度**決定**ボタンを押して**自動電源オン / オフ**を選択し、▲ または ▼ で**オン**（オン / オフタイマー有効）または**オフ**（オン / オフタイマー無効）を選び、**決定**ボタンを押します。
2. ▲ または ▼ で**頻度**を選び、**決定**ボタンを押します。▲ または ▼ で、次の項目を選択します。**毎日**（毎日電源 ON になります）、**平日**（平日のみ電源 ON になります）、または**週末**（週末のみ電源 ON になります）のいずれかの項目を選択し、**決定**ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ で**時間設定**を選び、**決定**ボタンを押します。本体の電源を自動的にオン / オフにする時刻を選択します。◀ または ▶ でオン / オフタイマーを設定する項目（時、分）を選択し、▲ または ▼ で変更します。本体のボタンを使うときは、**メニュー**で時刻を変更します。



4. 設定が完了したら、**決定**ボタンを押して、設定を保存して終了します。

パソコンに接続する

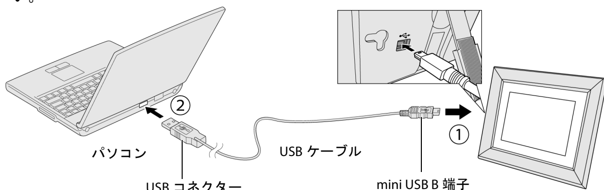
本製品をパソコンを接続すると、内蔵メモリーのデータを簡単に整理できます。

1 コンピュータが次の動作環境を満たしているかを確認してください。

OS	Windows Vista (SP 2)、Windows XP Home Edition (SP 3)、Windows XP Professional (SP 3) または Windows 7 のプレインストール版
その他	USB ポートは、パソコン本体標準の USB ポートをご使用ください。パソコン本体標準以外の USB ポートは、動作保証外です。

2 パソコンを起動して本体の電源をオンにします。

3 付属の USB ケーブルを図のように接続し、端子の奥までしっかりと差し込んでください。(USB コネクターの向きはパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書などで確認してください。) USB ハブやキーボードを経由せずに、直接パソコンと接続してください。



4 本体のポップアップ画面で **PC に接続**を選択し、**決定**ボタンを押します。すると、PC 転送モードに入ります。初めてパソコンと接続するときは、パソコンでの認識に時間がかかることがあります。

チェック

- パソコンとの接続中は、本製品の操作はできません。
- デジタルカメラなど他の機器は接続できません。

5 パソコンが本製品を正しく認識できたら、「マイコンピュータ」のリムーバルディスクとして表示されます。ここでは、他のディスクドライブでファイルを扱うのと同じ方法で、ファイルを管理できます。

チェック

- メモリーカードや USB フラッシュドライブ内のファイルは、USB 接続を通じて表示、編集できません。

注意

- パソコンを使って本製品の内蔵メモリーを初期化 (フォーマット) しないでください。

6 データのコピーなどが終了したら、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をして、接続を外します。USB ケーブルを外します。

注意

- パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行わずにケーブルを直接外すのは、お止めください。この手順を怠ると、データが失われる恐れがあります。

PictBridge 対応プリンターに接続する

PictBridge 対応プリンターを使うと、本製品からお気に入りの写真を直接印刷することができます。

付属の USB ケーブルを使って互換性のある PictBridge 対応プリンターと接続し、以下の手順に従ってお気に入りの写真を選択して印刷します。

1. 付属の USB ケーブルを使って本製品をプリンターに接続してください。端子の奥まで確実に差し込んでください。接続方法について詳しくは、プリンターに付属の説明書を参照してください。
2. 本体のポップアップ画面で**プリンターに接続**を選択し、**決定**ボタンを押します。
3. **写真モード**を選択し、サムネイル画面の状態で印刷する画像を選択します。



4. **メニュー**ボタンを押します。ポップアップメニューで ▲ または ▼ で**写真を印刷**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 市販されている全ての PictBridge 対応プリンターとの動作を保証するものではありません。



お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警　告


電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池や AC アダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。



内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池や AC アダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。


風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。


分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。



接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池を使用しない。
極性 (⊕⊖) 表示どおりに入れてください。



電池を分解、加工、加熱しない。
電池を落としたり、衝撃を加えない。
電池をショートさせない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池や AC アダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。火災の原因になります。



液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



電池は、乳幼児に触れさせないこと。
電池は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注　意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。



本機の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



AC アダプターを接続したまま移動しない。AC アダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



本機やACアダプターを布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



液晶画面は、傷が付きやすいので、先のとがったもの（シャープペンシル、ボールペンなど）で液晶画面をたたいたり、ひっかいたりしない



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池や AC アダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

電源についてのご注意
※ご使用になる電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池を上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池の寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

危険ですので、次のことにご注意ください


火気に近づけたり、火中に投げ込んだりしないでください。


分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、使用していると、本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ AC アダプターについてのご注意
必ず付属の AC アダプター（JEITA 規格、極性統一形プラグ付き) をお使いください。付属品以外の AC アダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。
- 室内専用です。
- 電源入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- AC アダプターは、本製品以外には使用しないでください。
- 電源入力端子から接続コードを抜くときは、本機の電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
- 使用中、AC アダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

■使用説明書について
使用説明書はパーソナルコンピュータ (以下パソコンといいます) と Windows の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンと Windows の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

お使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■著作権についてのご注意
著作権の目的となっている画像やファイル転送及び表示は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について
xD-Picture Card、xD- ピクチャーカードは富士フィルム (株) の商標です。
Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
SDHC ロゴは商標です。
- SD メモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDmicroSD は SD アソシエーションの商標です。
- マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティックマイクロ、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo、メモリースティック PRO-HGDuo はソニー株式会社の商標です。
- 著作権表示

FlashFX は、Datalight, Inc. の登録商標です。
FlashFX Copyright 1998-2008 Datalight, Inc.
米国特許庁 5,860,082/6,260,156
FlashFX Pro は Datalight,Inc. の登録商標です。
Datalight は Datalight,Inc. の登録商標です。
Copyright 1989-2008 Datalight, Inc., All Rights Reserved
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
- 本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所
次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ (放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど)
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露 (つゆつき) にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部に水滴がつくこと (結露) があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池またはメモリーカードを取り外して保管してください。

■本機のお手入れ
- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- 本機の本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意
- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードを本機に入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になると本機の故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードを本機に入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて
- 内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは、メモリーカードや別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- 本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

トラブルシューティング／ FAQ

デジタルフォトフレームの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■電源

症状	ここをチェック！	処置	ページ
電源がオンになりません。	AC アダプターは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	13
使用中に電源がオフになりました。	本製品がスタンバイモードではありませんか？	リモコンの**オン / オフ**ボタンを押してください。	——
	オン / オフタイマーを使用していませんか？	オフタイマーの設定をオフにしてください。	24

■画像を見る

症状	ここをチェック！	処置	ページ
画像が表示されません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	12
	内蔵メモリーやメモリーカードにデータは保存されていますか？	デジタルカメラやパソコンでメモリーカード内にデータが保存されているかを確認してください。	——
	本製品で表示できるファイル形式ですか？	本製品が対応しているファイル形式を使用してください。	35
	データをパソコンで加工していませんか？	加工したファイルは、正しく表示されない場合があります。	——
画像が見つかりません。	データをパソコンで加工していませんか？	加工したファイルは正しく表示されない場合があります。	——

■画像をコピーする

症状	ここをチェック！	処置	ページ
内蔵メモリーにデータをコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	12
	内蔵メモリーに十分な空きがありますか？	必要に応じて内蔵メモリーのデータを消去してください。	——
メモリーカードにデータをコピーできません。	内蔵メモリーのデータをメモリーカードや USB フラッシュドライブにコピーすることはできません。	パソコンとの接続とファイルのコピー。	25

■接続

症状	ここをチェック！	処置	ページ
パソコンが内蔵メモリーを認識しません。	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	25
	パソコンは必要な動作環境を満たしていますか？	対応するパソコンをお使いください。	25
PictBridge対応プリンタに本体を接続しても、写真を印刷できません。	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	26
	接続中のプリンターを本製品がサポートしていない可能性があります。	市販されているすべてのPictBridge対応プリンターをサポートすることを保証するものではありません。	26

■その他

症状	ここをチェック！	処置	ページ
操作しても動きません。	データのコピーをしていませんか？	動作が完了するまでお待ちください（複数のデータをコピーしていると時間がかかる場合があります。）	——
	一時的に誤作動しました。	本体の電源を切ります。ACアダプターの接続を一旦外して、もう一度接続します。	——
リモコン操作しても動きません。	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	10

警告表示

本製品に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
メモリーがいっぱいです	内蔵メモリーの空き容量が不足しています。内蔵メモリーのデータの移動やコピーはできません。	内蔵メモリーのデータを消去してください。
デバイスエラー	メモリーカードまたは USB フラッシュドライブの形式がサポートされていません。	メモリーカードまたは USB フラッシュドライブを確認してください。
実行できません	ファイルの形式がサポートされていません。またはファイルが壊れています。	ファイルの形式を確認してください。
システムエラー	デジタルフォトフレームが正しく機能していません。	本体の電源を切ります。AC アダプターの接続を一旦外して、もう一度接続します。

資料集

用語の解説

Exif:

デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。撮影した画像に次のような情報を記録することができます。

- 撮影日時
- 解像度
- 撮影方向

JPEG：

Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。デジタルカメラやパソコン、携帯電話で見ることができます。

インデックス：

画像を探しやすいように、縮小表示した複数の画像を、一覧できる形で画面に表示する機能。

スライドショー：

複数の画像を一定時間毎に切り替え、連続して表示する機能。スライドショー中、ある画像から次の画像に切り替わるときの視覚効果を「エフェクト」などと呼びます。

メモリーカードと USB フラッシュドライブについて

本製品では、2010 年 9 月現在で、以下のメモリーカードと USB フラッシュドライブの動作を確認しています。

xD- ピクチャーカード

xD- ピクチャーカード	2GB まで

SD メモリーカード

本書では、以下のものをまとめて「SD メモリーカード」と表記しています。

SD メモリーカード	2GB まで
miniSD カード※	2GB まで
microSD カード※	2GB まで
SDHC メモリーカード	32GB まで
miniSDHC カード※	4GB まで
microSDHC カード※	32GB まで
MultiMediaCard (MMC)	2GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と表記しています。

Memory Stick	64MB まで
Memory Stick Duo ※	64MB まで
Memory Stick PRO	512MB まで
Memory Stick PRO Duo ※	32GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

USB フラッシュドライブ

USB フラッシュドライブ	32GB まで

注意

- 対応表の範囲内の、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。
- 本機に挿入されたメモリカードを無理に抜き取ると、本機やメモリカードが破損することがあります。
- メモリカードを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- カードアダプターを使用して本機に取り付けたメモリカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残していると、正しく動作しなくなることがあります。
- 画像表示中、メモリカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

仕様

モデル		DP-S7V
液晶	液晶タイプ	TFT LCD 液晶
	液晶画面サイズ	7 型
	表示エリア	141.6 x 106.2 mm
	解像度 (W x H)	SVGA (800 x 600)
	表示色	1,620 万色
	総ドット数	1,440,000 ドット (800 x 600 x RGB)
	アスペクト比	4 : 3
	視野角 (上 / 下 / 左 / 右)	50°/60°/70°/70°
	輝度	約 250 cd/m^2
その他	最大再生画素数	10,000 x 10,000 画素
	内蔵メモリー	512MB
	最大表示画像数	約 4,000 枚
インターフェイス	USB 端子	miniUSB 2.0 (B タイプ) USB 2.0 (A タイプ)
	メモリーカードスロット	xD- ピクチャーカード /SD/SDHC/ マルチメディアカード (MMC)/ メモリースティック / メモリースティック PRO
対応ファイル	JPEG (.jpg) BMP (.bmp) MP3 (.mp3) WAV (.wav) MOV (.mov, Motion JPEG および H.264 のみ) AVI (.avi, Motion JPEG および H.264 のみ)	
電源	AC 100-240V ±10%　　50/60 Hz (専用 AC アダプター)	
消費電力	最大 10W	
サイズ (約 mm)	幅 238.2 x 高さ 202.9 x 奥行き 39.7 mm (フレームあり)	
質量	約 692 g（フレームあり）	

注意

- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての保証はご容赦ください。
- 液晶画面は、非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがあります。このような現象は正常で、故障ではありません。また、画像データに影響はありませんのでご了承ください。
- 視野角、輝度は液晶パネル全体による測定値です。
- 全ての動画ファイルの動作を保証するものではありません。



アフターサービスについて・保証書

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。
電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。
- 大切なファイルは別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買い上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※予め 36 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

<table>
<tr><td colspan="2">フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">電話番号</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">お 名 前</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>FAX 番号</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　　ー</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ボディ番号（機番）
保証書あるいは本体裏面に記載してある 8 桁の番号です。
修理お問合せ時にご連絡ください。</td><td colspan="3">NO.</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理品への添付</td><td colspan="3">□保証書　・　□メモリーカード</td></tr>
<tr><td colspan="5">□（　　　　）　□（　　　　）
□（　　　　）　□（　　　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">見積</td><td colspan="3">□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">見積連絡方法</td><td colspan="3">□電話　・　□ＦＡＸ</td></tr>
<tr><td colspan="2">故障症状（故障時の様子）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご購入時期</td><td colspan="3">20　年　月</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理履歴</td><td colspan="3">□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生状況</td><td>発生頻度</td><td colspan="3">□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　日に　回）</td></tr>
<tr><td>動作モード</td><td colspan="3">□再生時　・　□ショックを与えると</td></tr>
<tr><td>他機との接続</td><td colspan="3">□無　・　□有（接続機　　　　）</td></tr>
<tr><td>使用電源</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

Memo

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

● 本製品に関するお問い合わせは…

※予め 36ページの「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルム FinePix サポートセンター

050-3786-1060　「ご利用いただけない場合は」0228-30-2992

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX　050-3786-2060 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

● 本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

● 修理の受付は…

※ 36ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をこ確認ください。

■修理のご相談受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

050-3786-1040

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX　050-3786-2040 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

〒 989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字 95-1 ／ TEL: 050-3786-1040

■修理品お持ち込み窓口

サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ 、
または上記の <修理ご相談受付窓口> にてご確認、お問い合わせください。

● 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日午前 9:30 ～午後 5:00）TEL: 03-5786-1712

Printed in China
P/N: 4J.1CH02.002